



都立南大沢学園通信

～情熱・誠実・実践～

東京都立南大沢学園

校長 井上 美保

令和7年9月1日発行

9月号

学びと備え・・・自分を見つめる9月に

校長 井上 美保

本日から、夏季休業明けの学校生活がスタートしました。

長い休みの後は、生活のリズムを取り戻すのに少し時間がかかるかもしれません。まずは自分の体調をしっかりと管理し、規則正しい生活を心がけましょう。

さて、夏季休業前の全校集会で、私が皆さんにどんな話をしたか覚えていますか？

「夏休みは、学校から家庭へと生活の場が変わります。だからこそ、自分の行動に責任をもって過ごしてくださいね。」とお伝えしました。時間割もなく、注意してくれる先生もそばにはいません。自由な時間が増える分、誘惑も多くなります。そんな中で、どう過ごすか。どう行動するか。——それを自分で考えることが大切です。

暑い中、部活動に励み、大会で素晴らしい成果を収めた皆さんの姿もたくさん見かけました。努力の成果ですね。とても誇らしく思います。

9月は、生活のリズムを整え、ルールやマナーを改めて確認する大切な時期です。

前期のまとめの月として、社会人になるための基礎的・基本的な力を思い出し、日々の生活や授業の中でしっかりと身につけていきましょう。

そして、9月1日は「防災の日」です。

夏休み中は、猛暑に加え、大雨や台風、地震などの災害が各地で報道されました。東京都でも「防災の日」に合わせて総合防災訓練が行われるなど、積極的な取り組みが進められています。

私たちも、地域や関係機関と連携しながら、計画的な訓練を行っています。

「自分だけは大丈夫」と思ってしまいがちですが、災害はいつ、誰に起こるかわかりません。災害を“自分事”として捉え、命を守る行動を繰り返し確認していきましょう。

9月とはいえ、まだ暑い日が続きます。体調に気をつけて、自ら健康管理ができるのが、南大沢学園の生徒です。元気に学校生活を送りましょう。



夏季休業中 部活動大会報告

■サッカー部（写真）

『第4回 全国特別支援学校フットサル大会東京予選オープン大会 優勝』

■バスケット部『第26回 東京都障害者スポーツ大会 男子B優勝』

防災について

主幹教諭 小林 憲生

今日から前期のまとめとなる9月がはじまりました。夏休み中は、連日の猛暑に加え、各地で起こった大雨や台風、地震などのニュースも報道されていました。大雨の報道では、大雨が降った直後の被害の様子がTVから流れていました。その様子を見た人はどのくらいの関心をもって見たり聞いたりしていたのでしょうか。

「災害」とは、台風・大雨・地震・火事などによって引き起こる被害のことをいいますが、それらの災害から自分の身を守り、防ぐために前もって準備する取り組みのことを「防災」といいます。本校では、「防災教育」として、月一回の避難訓練やライフスキルの授業で自分の身を守るための学習に取り組んでいます。そのひとつとして夏休み前の7月17日には、八王子消防署由木分署と南大沢警察署の方々に協力していただき、1年生を対象とした「防災学習」が実施されました。そこでは、『①トイレ設置訓練 ②救出・救命救急訓練（AED） ③初期消火訓練』の3つの防災に関する基礎知識についてそれぞれ実技も交えて学習しました。

防災は、学校だけではなく、卒業したあとの社会人になっても続きます。また、誰かがやってくれるものでもありません。防災について、一人ひとりが考え意識して行動することで、被害を最小限に抑えることができます。これまで防災について関心があった人もそうでなかった人も、今からできる自分なりの防災対策を考えてみるのが大切です。まずは、身近なニュースなどに目を向けて防災への意識を高めていってみてください。

*防災対策では、以下の基本3原則も重要です。

- 基本3原則**
- (1) 自助・・・自分や家族の命と安全を守るための備えや行動。
 - (2) 共助・・・地域や学校、友達で協力し合い、お互いに助け合う。
 - (3) 公助・・・消防や警察、自衛隊などによる支援や救助活動。

■宿泊学習の様子



①トイレ設置



②AED



③初期消火